

パーソナルオーディオシステム

取扱説明書・保証書

お買い上げいただきありがとうございます。

警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱い方を示しています。この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。



©2012 Sony Corporation Printed in China

ZS-E20CP

保証書

品名	パーソナルオーディオシステム
型名	ZS-E20CP
お買上げ日	平成 西暦 年 月 日

本書は、本書記載内容(右面記載)で無料修理を行うことをお約束するものです。お買上げの日から下記期間中に故障が発生した場合は、お客様欄にご記入の上、修理をお申付けください。

ソニー特約店

お問合せ先：修理相談窓口
フリーダイヤル **0120-222-330**
携帯電話・PHSの一部のIP電話からは、050-3754-9599
ホームページ：<http://www.sony.jp/support/>
ソニーマーケティング株式会社
東京都港区港南1-7-1 〒108-0075

保証期間	お買上げの日から	1年
お客様住所	お名前	様

無料修理規定

- 正常な使用状態で保証期間内に製品(ハードウェア)が故障した場合には、本書に従い無料修理をさせていただきます。本書記載の修理対応の種別(出張修理、持込修理、引取修理)を二欄部の上、以下の要領でご依頼および本書(再発行しませんので、大切に保管してください)の提示・提出をお願いします。なお、受付窓口の種別は、(1)お買上げのお昼、(2)お近くのソニーサービスステーション、(3)本書に記載の修理相談窓口の3種類です。

種別	受付窓口	保証書の提示・提出	注意事項
出張修理	(1)(2)(3)	出張修理担当者が訪問した際に提示	※1
持込修理	(1)(2)	持参した製品の修理依頼の際に提示	※2
引取修理	(3)	製品の引取時に指定業者へ提出	

 ※1 難島及び離島に準ずる遠隔地への出張修理となる場合、出張費用(実費)を申し受けます。
 ※2 (1)(2)へのご依頼が難しい場合は、(3)にご相談ください。
- お客様のご要望により、出張修理の種別について引取修理を、持込修理の種別について出張修理・引取修理を、引取修理を、引取修理の種別について出張修理を行う場合は、別途所定の料金を申し受けます。
- 保証期間内の故障でも次の場合には有料となります。
 - 本書のご提示がない場合(2)本書にお買上げ日およびソニー特約店の記載がない場合または本書の記載を書き換えた場合(3)保証期間中に発生した故障について、保証期間終了後に修理依頼された場合(4)使用上の誤り(取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書きに従った正常な使用をしなかった場合を含む)による故障・損傷(5)他の機器から受けつけた電圧または不当な修理、改造による故障・損傷(6)お買上げ後の修改、輸送、落下などによる故障・損傷(7)火災、地震、風水害、落雷その他の天災地変、公害、塩害、ガス害(硫化ガスなど)、異常電圧などによる故障・損傷(8)業務用など一般家庭用以外での使用による故障・損傷(9)消耗品・消耗した部品の交換、汚損した部分の交換
 - 故障の状況その他の事情により、修理に代えて製品交換をする場合がありますのでご了承ください。
 - 修理に際して再生部品・代替部品を使用する場合があります。また、修理により交換した部品は弊社が任意に回収のうえ適切に処理・処分させていただきます。
 - 本書に基づく無料修理(製品交換を含む)後の製品については、最初のご購入時の保証期間が適用されます。
 - 故障によりお買上げの製品を使用できなかったことによる損害については補償いたしません。
 - 記録媒体を搭載または使用する製品の場合、故障の際または修理・交換により記録内容が消失等する場合がありますが、記録内容についての補償はいたしません。
 - 本書は日本国内でのみ有効です。(This warranty is valid only in Japan.)

修理メモ

*本書はお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
 *保証期間後の修理については、取扱説明書等をご覧ください。 T05-4

著作権保護技術付音楽ディスクについて

本機は、コンパクトディスク(CD)規格に準拠した音楽ディスクの再生を前提として、設計されています。いくつかのレコード会社より著作権保護を目的とした技術が搭載された音楽ディスクが販売されていますが、これらの中にはCD規格に準拠していないものもあり、本機で再生できない場合があります。

DualDiscについて

DualDiscとはDVD規格に準拠した面と、音楽専用面とを組み合わせた新しい両面ディスクです。尚、この音楽専用面はコンパクトディスク(CD)規格には準拠していないため、本製品での再生は保証致しません。

CDの取り扱い方

- 文字の書かれていない面(再生面)に触れないように持ちます。
- 紙やシールなどを貼ったり、傷つけたりしないでください。
- 長時間再生しないときは、ケースに入れて保管してください。ケースに入れて重ねて置いたり、なまめに立てかけておくとその原因になります。
- 本機では円形ディスクのみお使いいただけます。円形以外の特殊な形状(星型、ハート型、カード型など)をしたディスクを使用すると、本機の故障の原因となることがあります。

CDのお手入れのしかた

- 指紋やほこりによるCDの汚れは、音質低下の原因になります。いつもきれいにしておきましょう。
- ふだんのお手入れは、柔らかい布でCDの中心から外の方へ軽く拭きます。

- 汚れがひどいときは、水で少し湿らせて布で拭いたあと、さらに乾いた布で水気を拭き取ってください。
- ペンジンやレコードクリーナー、静電気防止剤などは、CDを傷めることがありますので、使わないでください。

保証書とアフターサービス

保証書

- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。
- 保証期間は、お買上げ日より1年です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときは

ソニーの相談窓口(下記)またはお買い上げ店にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社では(パーソナルオーディオシステムの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)、製造打ち切り後6年間保有しています。ただし、故障の状況その他の事情により、修理に代えて製品交換をする場合がありますのでご了承ください。

よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などは <http://www.sony.jp/support/> ホームページをご活用ください。

使い方相談窓口	
フリーダイヤル	0120-333-020
携帯電話・PHSの一部のIP電話	050-3754-9577
修理相談窓口	
フリーダイヤル	0120-222-330
携帯電話・PHSの一部のIP電話	050-3754-9599
※取扱説明書・ラベル等の購入相談はこちらへお問い合わせください。	
FAX(共通)0120-333-389	

左記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に「304」+「#」を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

故障かな?と思ったら

本機が正しく動作しないときは、下記の項目をチェックしてください。それでも正しく動作しないときは、ソニーの相談窓口またはお買い上げ店にお問い合わせください。

共通

電源が入らない。

- 電源コードをAC IN端子とコンセントにしっかり差し込む。
- 乾電池を正しく入れる。
- 乾電池が消耗していたら、すべて新しいものと交換する。

電池の消耗が早い。

- 本機をマンガン乾電池でお使いの場合、使用時間が著しく短くなる場合があります。乾電池で使う場合は、アルカリ乾電池をお使いください。

音が出ない。

- 音量を調節する。
- ヘッドホンを Ω (ヘッドホン)端子から抜く。

雑音が入る。

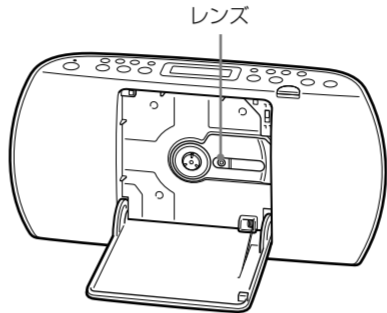
- 近くで携帯電話などの電波を発する機器を使用している→携帯電話などを本機から離して使用する。

CD部

再生が始まらない。

CDが入っているのに「noDISC」が表示される。

- CDが裏返し→文字のある面を手前にする。
- CDの汚れがひどい→クリーニングする。
- レンズに露(水滴)がついている→CDを取り出してCDぶたを開けたまま1時間くらい置く。



- ファイナライズ処理(通常のCDプレーヤーで再生できるようにする処理)がされていないCD-R/CD-RWディスクは再生できません。
- CD-R/CD-RWでは、ディスクや記録に使用したレコーダーの状態によって再生できない場合があります。
- CD-R/CD-RWに何も記録されていない。
- 乾電池が消耗していたら、すべて新しいものと交換する。

音がぶ。

- 音量を下げる。
- CDの汚れがひどい→クリーニングする。
- 振動のない場所に置く。
- CDに傷がある→CDを取り換える。
- CD-R/CD-RWでは、ディスクや記録に使用したレコーダーの状態によって、再生された音かとんだり、雑音が入ることがあります。

MP3ファイルやWMAファイルを再生できない。

- ファイル名の拡張子が間違っているか、付いていない。本機が対応する拡張子は、次のとおりです。
 - MP3ファイル：「.mp3」
 - WMAファイル：「.wma」
- オーディオファイルのフォーマットが適切でない。本機はMP3形式(MPEG 1 Audio Layer-3)とWMA形式以外のフォーマットには対応していません。

ラジオ部

FM放送の受信時にステレオにならない。

- モード切換ボタンを押して、「ST」を表示させる。
- ステレオ放送のときのミステレオで聞くことができます。

雑音が入る。

- FMステレオ放送を受信しているときは、受信状態によっては雑音が多くなります。
- 乾電池が消耗していたら、すべて新しいものと交換する。
- テレビの近くでAM放送を受信すると、AM放送に雑音が入ることがあります。また室内アンテナを使用しているテレビの近くで、本機でFM放送を聞くと、テレビの画像が乱れることがあります。このようなときは、本機をテレビから離してください。

「お気に入りラジオ局」ボタンを押しても、登録した放送局が受信できない。

- 放送局を登録したあと「お気に入りラジオ局」ボタンを押したままにすると、受信中の放送局で上書き登録されます。

主な仕様

CDプレーヤー部

型式 コンパクトディスクデジタルオーディオシステム
チャンネル数 2チャンネル
ワウ、フラッター-測定限界以下(EITA*)
周波数特性 20Hz - 20,000Hz
+1/-2dB (EITA)

対応ファイルフォーマット
MP3 (MPEG 1 Audio Layer-3)
ビットレート：32kbps ~ 320kbps, VBR
サンプリング周波数：32kHz、44.1kHz、48kHz
WMA
ビットレート：48kbps ~ 192kbps, VBR
サンプリング周波数：32kHz、44.1kHz、48kHz

ラジオ部

受信周波数 FM: 76.0MHz - 90.0MHz
AM: 531kHz - 1,710kHz
アンテナ FM: ロッドアンテナ
AM: フェライトバー(アンテナ内蔵)

共通部

スピーカー フルレンジ 5cm、コーン型BQ、2個
音声入力(ステレオミニジャック) 1系統
ヘッドホン(ステレオミニジャック) 1系統
負荷インピーダンス 16 Ω - 32 Ω

実用最大出力 1W + 1W (EITA/8 Ω)
電源 家庭用電源(AC100V 50Hz/60Hz)
単3形乾電池6個使用(DC 9V) (別売り)

消費電力 11W
約0.8W (電源オフ時)
電池持続時間²⁾ CD再生時(EITA)
約3時間(音量大4分目程度)
FM受信時
約12時間

最大外形寸法 約330mm × 166mm × 89mm
(幅 × 高さ × 奥行き)
(最大突起部含む)(EITA)

質量

本体 約1.5kg
ご使用時 約1.7kg (乾電池、CD含む)
電源コード(1)、お気に入りラジオ局名メモ(1)、安全のために(1)、取扱説明書・保証書(1)、かんたんスタートガイド(1)

¹⁾ JEITA (電子情報技術産業協会)規格による測定値です。
²⁾ ソニー単3形(LR6)アルカリ乾電池使用時。周囲の温度や使用状況、電池のメーカーや種類により、上記の電池持続時間と異なることがあります。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

商標

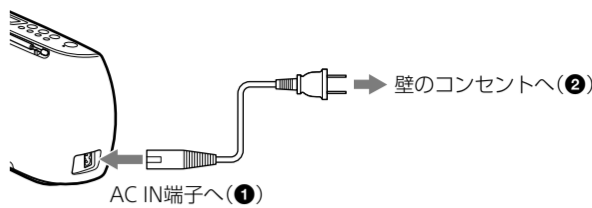
- 本機はFraunhofer IISおよびThomsonのMPEG Layer-3オーディオコーディング技術と特許に基づく許諾製品です。
- Windows Media は米国および/またはその他の国におけるMicrosoft Corporation の登録商標または商標です。
- 本製品にはMicrosoft の知的財産権の対象である技術が含まれています。Microsoft から使用許諾を得ることなく、この技術を本製品以外で使用または頒布することは禁じられています。

準備をする

本機は家庭用電源、または乾電池(別売り)のいずれかを選んでお使いになります。

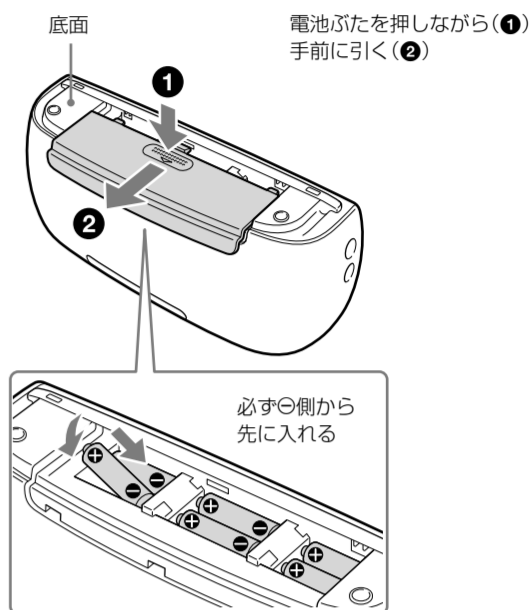
電源コードを接続する

本機のAC IN端子へ差し込んだあと(①)、壁のコンセントへ差し込んでください(②)。



乾電池を使用する

単3形乾電池6個(別売り)を入れてください。乾電池でお使いになるときは、電源コードは抜いてください。



乾電池の交換について

乾電池のみで使用中、乾電池が消費してくると電源/電池ランプが暗くなったり、自動で電源が切れたりします。このようなときは、すべて新しい電池に交換してください。

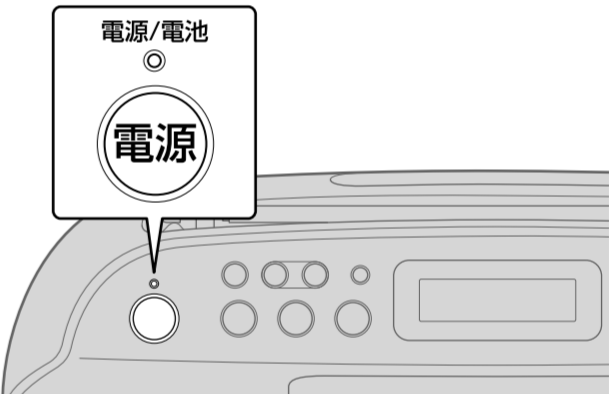
ご注意

- 本機をマンガン乾電池でお使いの場合、使用時間が著しく短くなる場合があります。アルカリ乾電池でお使いください。
- 乾電池を出し入れするときは、CDを取り出しておいてください。CDぶたの中でCDがずれて傷つくとおそれがあります。

電源について

本機は電源ボタンだけでなく、CD再生/一時停止(▶||)ボタン、FM/AMボタン、「お気に入りラジオ局」①、②、③ボタン、音声入力ボタンでも電源を入れることができます。これらのボタンで電源を入れた場合は、電源が入ると同時に選んだ音源に切り換わります。

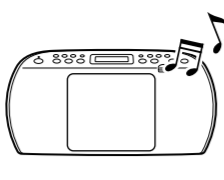
電源を切るには、電源/電池ランプが消えるまで、電源ボタンを押してください。



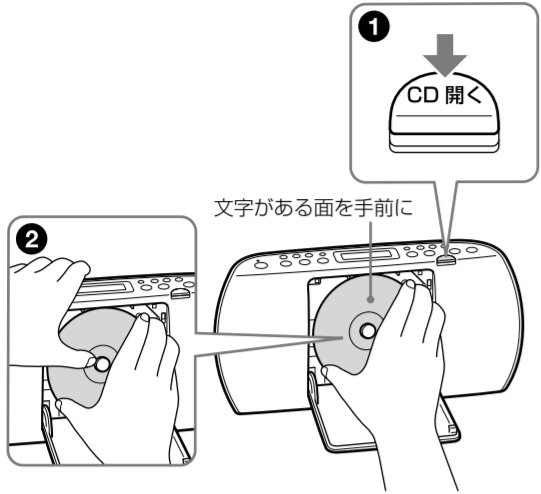
CDを聞く

次のCDを再生できます。

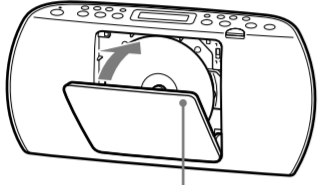
- 音楽用CD（市販）
- CD-R/CD-RW（音楽用CDフォーマットで記録）
- CD-R/CD-RW（MP3/WMAオーディオファイルをデータ形式で記録）



- 「CD 開く」ボタンを押してCDふたを開け(❶)、文字がある面を手前にして、カチッと音がするまでCD中央部を押す(❷)。



- CDふたの右上部を押して、CDふたを開める。



この部分を押す

- CD再生/一時停止(▶||) *ボタンを押す。再生が始まり、表示窓に再生経過時間が表示されます。



* 凸点がついています。操作の目印としてお使いください。

ご注意

- CD再生中はCDふたを開けないでください。

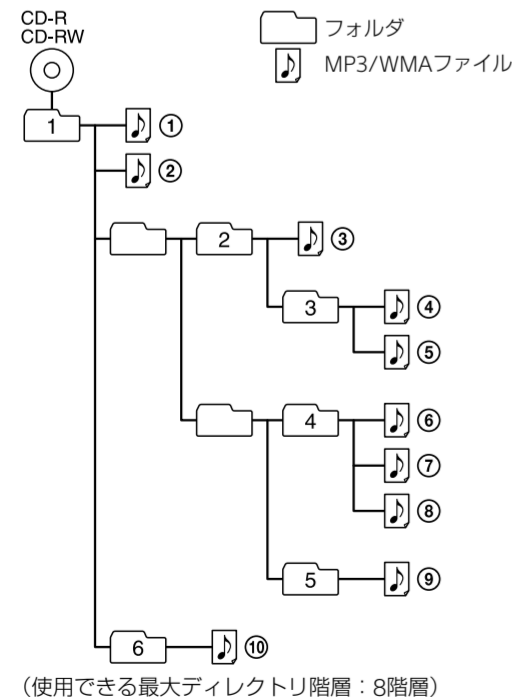
ちょっと一言

- MP3/WMAファイルの再生中は、表示窓に「MP3」または「WMA」が表示されます。
- ヘッドホンで聞くとときは、ヘッドホンを本体の右側面にあるΩ（ヘッドホン）端子につないでください。

したいこと	操作
音量を調節する	音量+または-ボタンを押す。表示窓に「VOL」が表示されます。
再生を止める	停止(■)ボタンを押す。
再生中一時停止する	CD再生/一時停止(▶)ボタンを押す。もう1度押すと再生が始まります。
次の曲へ進む	曲送り▶▶ボタンを短く押す。
曲の頭に戻る	曲送り◀◀ボタンを短く押す。
曲を聞きながら聞きたい部分を探す	再生中に曲送り▶▶または◀◀ボタンを押したままにする。
表示窓の再生時間を見ながら聞きたい部分を探す	再生中または一時停止中に曲送り▶▶または◀◀ボタンを押したままにする。
MP3/WMAディスク内のフォルダを選ぶ	選局/□+または-ボタンを押す。
CDを取り出す	「CD 開く」ボタンを押す。
CDの全曲数と全再生時間を調べる	再生中には2回、停止中には1回、停止(■)ボタンを押す。全曲数、全再生時間の順に表示されます。表示切換ボタンを押すと、全曲数を再確認できます。
MP3/WMAディスクの全フォルダ数と全曲数を調べる	再生中には2回、停止中には1回、停止(■)ボタンを押す。全フォルダ数と全曲数が表示されます。
再生中に曲番を調べる	再生中に表示切換ボタンを押す。

MP3/WMAファイルの再生の順番について

MP3ファイルやWMAファイルを記録したディスクでは、書き込みの方法によって再生の順番が異なる場合があります。下記のディスクの例では、❶から❿の順にファイルが再生されます。



(使用できる最大ディレクトリ階層：8階層)

MP3/WMAディスクについてのご注意

- ディスクや記録に使用したレコーダーの状態によっては、再生が始まるまでに時間がかかったり、再生されない場合もあります。
- 本機はディスク上のフォルダとファイルあわせて最大511個まで認識します。
- ディスクの作成時には、MP3/WMA以外のフォーマットのファイルや不要なフォルダを書き込まないでください。
- MP3ファイルやWMAファイルがないフォルダは飛ばして再生されます。
- MP3ファイルには「.mp3」、WMAファイルには「.wma」の拡張子を付けてください。ただし、MP3/WMA以外のフォーマットのファイルに「.mp3」または「.wma」の拡張子を付けても、そのファイルは正しく認識されません。
- MP3 PRO形式のファイルは再生できません。
- WMA DRM/WMA Lossless/WMA PRO形式で作成されたWMAファイルは再生できません。
- 本機が対応する拡張子やフォーマットのファイルがひとつも記録されていないときは、ディスクを入れても「noDISC」が表示されます。

ちょっと一言

- 一度再生を停止し、次にCD再生/一時停止(▶||)ボタンを押すと、前回再生を停止した曲番より再生されます。停止中は再生中の曲番が表示されます。
- 再生前に1回、停止(■)ボタンを押すと、1曲目の始めより再生できます。

繰り返し聞く(リピート再生)

CDに入っている曲を1曲または全曲繰り返し聞くことができます。

- CDの再生中、停止(■)ボタンを押して、停止する。
- 停止中にモード切換ボタンを押して、以下の操作をする。



リピートの種類	操作
1曲だけ繰り返す	1 「◀ 」に切り換わるまで、モード切換ボタンを繰り返し押す。 2 曲送り▶▶または◀◀ボタンを押して、曲番を選ぶ。
全曲を繰り返す	「◀ 」に切り換わるまで、モード切換ボタンを繰り返し押す。
選んだフォルダ内の全1曲を繰り返す(MP3/WMAディスクのみ)	1 「◀ 」に切り換わるまで、モード切換ボタンを繰り返し押す。 2 選局/□+または-ボタンを押して、フォルダを選ぶ。

- CD再生/一時停止(▶||)ボタンを押す。再生が始まります。

(例) 音楽用CDの場合



リピート再生をやめるには

停止中に「◀|」の表示が消えるまで、モード切換ボタンを繰り返し押す。

ご注意

- 再生中、または一時停止中にモード切換ボタンは使えません。再生中にモード切換ボタンを押した場合、「PUSH STOP」が表示されます。

順不同に聞く(シャッフル再生)

CDに入っている全曲を順不同に聞くことができます。

- CDの再生中、停止(■)ボタンを押して、停止する。
- 停止中に「SHUF」に切り換わるまで、モード切換ボタンを繰り返し押す。

- CD再生/一時停止(▶||)ボタンを押す。再生が始まります。

(例) 音楽用CDの場合



シャッフル再生をやめるには

停止中に「SHUF」の表示が消えるまで、モード切換ボタンを繰り返し押す。

ご注意

- 再生中、または一時停止中にモード切換ボタンは使えません。再生中にモード切換ボタンを押した場合、「PUSH STOP」が表示されます。

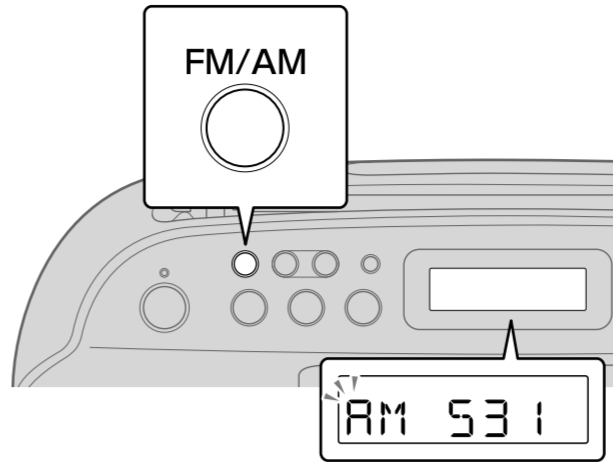
ちょっと一言

- シャッフル再生のときは、一度再生を停止し、次にCD再生/一時停止(▶||)ボタンを押しても、停止したところから再生を再開することはできません。

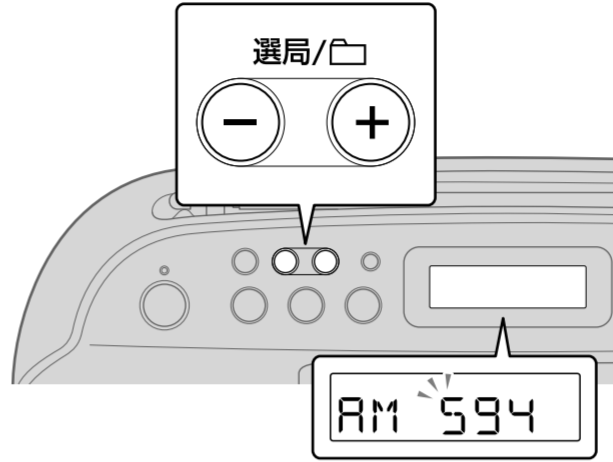
ラジオを聞く

- FM/AMボタンを押して、FMまたはAMを選ぶ。

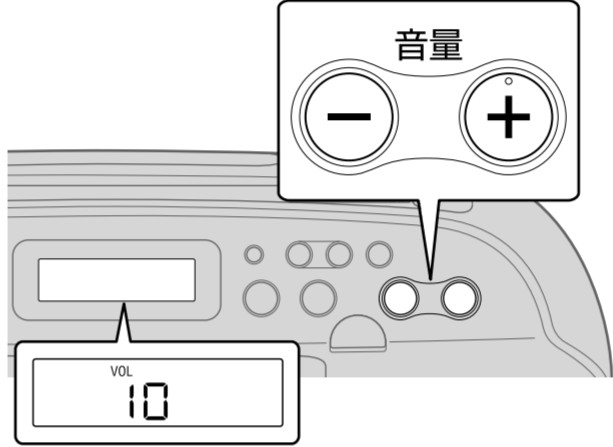
「FM」または「AM」と、周波数が表示されます。FMとAMを切り換える場合は、再びFM/AMボタンを押します。



- 選局/□+または-ボタンを押して、周波数を合わせる。

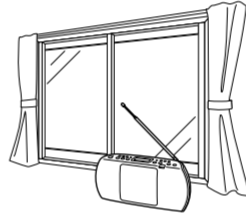


- 音量+または-ボタンを押して、音量を調節する。



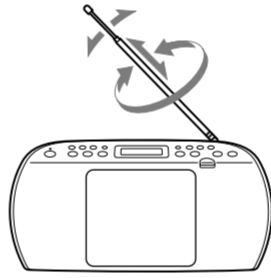
受信状態を良くするには

窓際など、電波を受信しやすい場所でお使いください。また、受信したい放送に合わせてアンテナを調整してください。



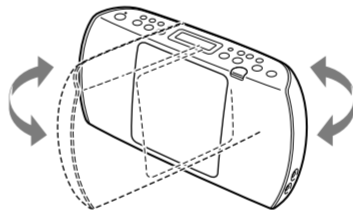
FM放送局

本体のロッドアンテナを伸ばし、向きを変える。



AM放送局

本体を最も受信状態の良い方向へ向ける。(AMのアンテナは本体に内蔵されています。)



「お気に入りラジオ局」を登録する

よく聞く放送局を、「お気に入りラジオ局」ボタンを押すだけで簡単に登録することができます。FM、AMあわせて3局まで登録できます。

- FM/AMボタンを押して、FMまたはAMを選ぶ。「FM」または「AM」と、周波数が表示されます。FMとAMを切り換える場合は、再びFM/AMボタンを押します。

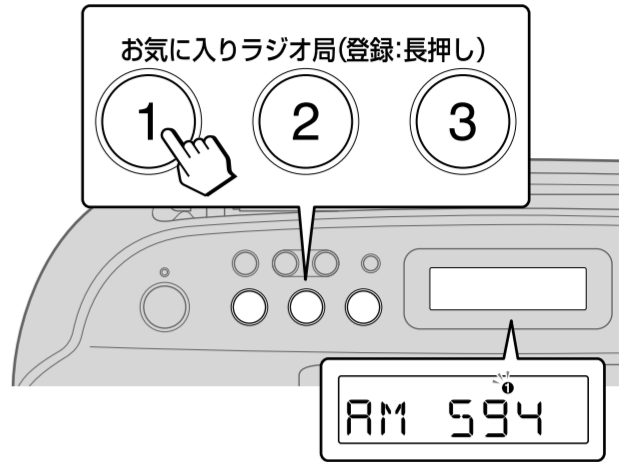
- 選局/□+または-ボタンを押して、登録したい放送局を受信する。

選局/□ボタンを押したままにして、数字が動き始めたら指を離します。受信可能な放送局が見つかったら、自動的に周波数の数字が止まります。

- ❶、❷、❸のいずれかの「お気に入りラジオ局」ボタンを約2秒間「ビッ」と音がするまで押す。

放送局が登録され、選んだ「お気に入りラジオ局」ボタンの数字が点灯します。

(例) ❶ボタンに登録する場合



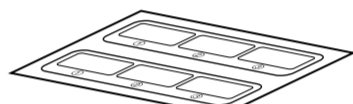
- 他のボタンに続けて放送局を登録したいときは、手順1～3を繰り返す。

登録済みのボタンに別の放送局を登録するには

手順1～3を繰り返す。

新しい放送局を登録すると、同じボタンに登録されていた前の局は消えます。

「お気に入りラジオ局名メモ」について
付属の「お気に入りラジオ局名メモ」シールに登録した放送局の名前を記入して、CDふたなどに貼ってお使いください。



登録したラジオ局を選局する

放送局を登録した「お気に入りラジオ局」ボタンを押して、すぐ指を離す。

放送局を受信します。表示窓には選んだ「お気に入りラジオ局」ボタンの数字と、周波数が表示されます。

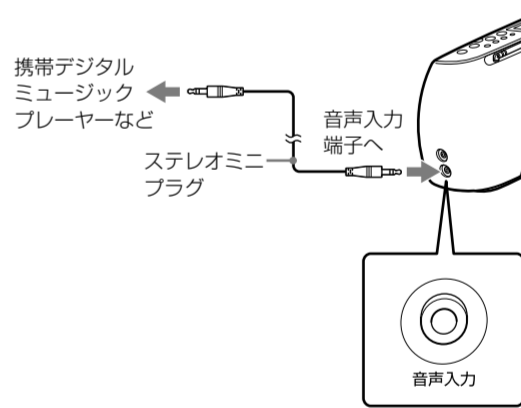
ご注意

- 放送局が登録されている「お気に入りラジオ局」ボタンを押したままにすると、受信中の放送局で上書き登録されます。

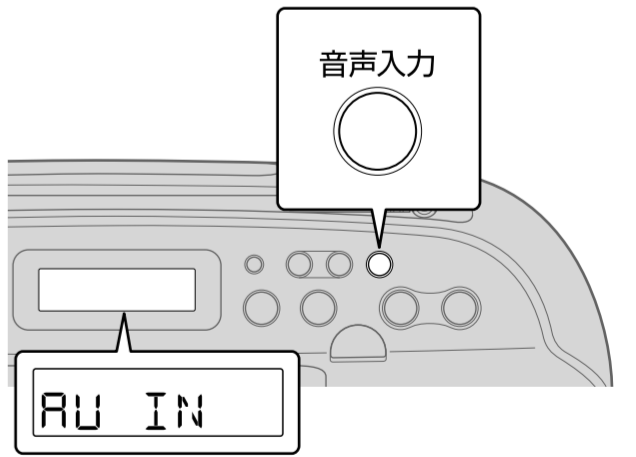
外部機器をつないで聞く

携帯デジタルミュージックプレーヤーなどの外部機器を本機につないで、スピーカーから流れる音を楽しむことができます。つなぐ前に本機と接続機器の電源を切ってください。

- 別売りの機器を本体右側面の音声入力端子につなぐ。別売りの音声接続コード(ステレオミニプラグ)を使って、別売りの機器の音声出力端子(ヘッドホン端子など)につなぎます。



- 音声入力ボタンを押す。「AU IN」が表示されます。



- つないだ機器で再生を始める。

本機のスピーカーから音声が出力されます。再生について詳しくは、つないだ機器の取扱説明書をご覧ください。

- 音量+または-ボタンを押して、音量を調節する。表示窓に「VOL」が表示されます。

ご注意

- 接続した外部機器の出力端子がモノラルジャックの場合は、本機の右側スピーカーから音が出ない場合があります。
- 接続した外部機器の出力端子がLINE OUT端子の場合は、ひずみが発生する場合があります。音がひずんだ場合は、ヘッドホン端子につないでください。
- ミュージックプレーヤーのヘッドホン端子とつないだ場合は、ミュージックプレーヤーの音量を上げてから、本機の音量を調節してください。